

3. 一般社団法人根浜MIND（岩手県釜石市）

～多様な「楽しい！」を提供する海辺づくり&国内外の人々が学ぶ防災教育環境づくりプロジェクト～

① 取組背景・地域課題

- 釜石市鵜住居町根浜地区・箱崎半島は、津波による甚大な被害を受けたが、復旧・復興の過程において住民の話し合いにより、様々な防災活動・地域団体が生まれるなど、**住民による主体的な地域づくり**が行われてきた。
- このエリアは海水浴場をはじめ海辺の観光資源も豊富に有しており、**国内外の交流人口を迎える観光地・防災教育の場としての復興**が求められている。そのために、地域全体で安全に観光客に楽しんでもらう環境づくりを進め、防災意識の向上・防災教育の受入体制強化を図ることが必要とされている。

② 支援体制

コーディネーター (支援事業者)	(株) 日本総合研究所
外部専門家 連携団体等	・ (一社) 三陸ひとつなぎ自然学校 ・ 釜石市 ・ 根浜海岸・箱崎半島の観光 及び防災教育関係者 等

③ 本事業の目的と取組内容

観光・防災を軸にした根浜地区・箱崎半島の復興に向けて、海辺の地域資源を活かしたプログラム実践・改善と情報発信、多様な主体が連携した防災教育の実施体制構築を進める

取組① 根浜海岸の観光関連事業者が連携したプログラムの実践・改善と情報発信

- 根浜地区・箱崎半島では、今年度、多様なマリニアクティビティを楽しめる海あそびイベント、英国の学生と釜石の子どもたちが交流しながら海の防災・救命活動を学ぶサマースクール、ラグビーワールドカップに併せたインバウンド客の受入、地域のひと・コトに関する情報発信など多彩な活動を予定。これらの実践と振り返りを通じ、交流人口受け入れ体制の強化・改善を進める。

- 海辺の交流人口受入プログラム実践(4件程度)
- 海辺の交流人口受入プログラム改善プラン整理
- 根浜海岸・箱崎半島の観光要素の整理、WEB・パンフレットによる発信

取組② マルチステークホルダーによる国内外からの防災教育実施体制の構築

- 根浜地区・箱崎半島では、根浜MINDを含む様々な地域団体や行政等が、国内外の人々を対象として、震災の経験と教訓を伝える防災教育活動を行っている。
- 防災教育の質をさらに高め、実施体制を強化するため、民間団体・行政・教育機関・地域住民等が相互に連携した防災教育プログラムとその提供のあり方を検討。また、試行的なプログラム実践も行う。

- 防災教育に関わる関係者・資源の整理
- 関係機関が連携した防災研修受入プログラムの整理
- 試行プログラムの実践